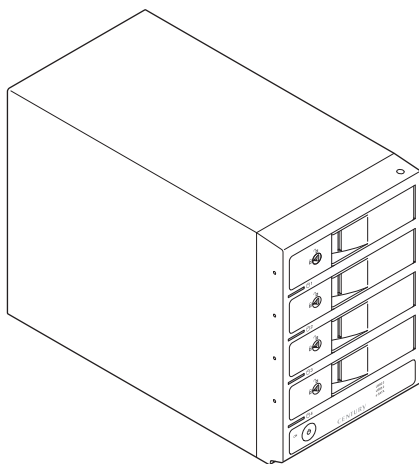


裸族の集合住宅 USB3.0 & eSATA

CRSJ35EU3 取扱説明書



【はじめに】

このたびはCRSJ35EU3をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本説明書を必ずお読みください。

【安全上の注意】 <必ず守っていただくようお願いいたします>

- ・ご使用前に、安全上の注意をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- ・この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への肉体的危害や財産への損害を未然に防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解の上、守って頂くようお願いいたします。
- 次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表します。

⚠ 警告 この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性を想定した内容を示します。

⚠ 注意 この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害ないし物的障害を負う可能性を想定した内容を示します。

⚠ 警告

- 煙が出る、異臭がする、異音がでる
煙が出る、異臭がする、異音がでるときはすぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
- 機器の分解、改造をしない
機器の分解、改造をすることは火災や感電の原因となります。
点検および修理は、お買い上げの販売店へ依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
- 機器の内部に異物や水を入れない
筐体のすきまから内部に異物や水が入った場合は、すぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
- 湿度の高い場所、水気のある場所では使用しない
台所や風呂場など、湿度の高い場所、水気のある場所では使用しないでください。感電や機器の故障、火災の原因となります。
- 不安定な場所に機器を置かない
ぐらついた台の上や傾いた場所、不安定な場所に機器を置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。そのまま使用されると火災の原因になる可能性があります。
- 電源の指定許容範囲を守る
機器指定の電圧許容範囲を必ず守ってください。定格を越えた電圧での使用は火災や感電、故障の原因となります。
- 電源コード、接続コードの取扱いについて
電源コード、接続コードの上に機器本体や重い物を置いたり、釘等で固定すると傷ついて芯線の露出や断線等による火災や感電の原因になったり、機器の故障につながりますので必ず避けてください。また、足を引っかけるおそれのある位置等には設置しないでください。
- 雷が鳴り出したら電源コードに触れない
感電したり火災の原因となります。
- ぬれた手で機器に触れない
ぬれたままの手で機器に触れないでください。感電や故障の原因になります。

⚠ 注意

- 設置場所に関する注意事項
以下のような場所に置くと火災や感電、または故障の原因となります。
 - ・ 台所、ガスレンジ、フライヤーの近くなど油煙がつきやすいところ
 - ・ 浴室、温室、台所など、湿度の高いところ、雨や水しぶきのかかるところ
 - ・ 常に5℃以下になる低温なところや40℃以上の高温になるところ
 - ・ 火花があたるところや、高温度の熱源、炎が近いところ
 - ・ 有機溶剤を使用しているところ、腐食性ガスのあるところ、潮風があたるところ
 - ・ 金属粉、研削材、小麦粉、化学調味料、紙屑、木材チップ、セメントなどの粉塵、ほこりが多いところ
 - ・ 機械加工工場など切削油または研削油が立ち込めるところ
 - ・ 食品工場、調理場など、油、酢、揮発したアルコールが立ち込めるところ
 - ・ 直射日光のあたるところ
- 長期間使用しない場合は接続コードを外してください
長期間使用しない場合は接続コードを外して保管してください。
- 機器を移動するときは接続コード類をすべて外してください
移動する際は必ず接続コードを外して行ってください。接続したままの移動はコードの断線等の原因となります。
- 小さいお子様を近づけない
お子様が機器に乗ったりしないよう、ご注意ください。怪我等の原因になることがあります。
- 静電気にご注意ください
本製品は精密電子機器ですので、静電気を与えると誤動作や故障の原因となります。

■ もくじ

■ はじめに	i
■ 安全上の注意	i
■ 制限事項	1
■ ご使用の前に	1
■ 製品仕様	2
■ 製品内容	2
■ 各部の名称	2
■ 対応HDD	3
■ 対応機種	3
■ 対応OS	3
■ HDDの組み込み方法	5
■ 電源の投入方法	10
■ 使用方法	11
■ 電源連動機能について	12
■ 領域の確保とフォーマット	13
・ Windows 7、Windows Vistaの場合	13
・ Windows XPの場合	19
■ ハードウェアの取り外しについて	23
■ Macでの使用方法	25
■ トラブルシューティング	27
■ FAQ	29
■ サポートのご案内	31

【制限事項】 <必ずお読みください>

- ・本製品を使用するによって生じた直接、間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- ・本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。このような環境下での使用に関しては一切の責任を負いません。
- ・ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
- ・本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。
- ・本製品は3.5インチのSATA HDD専用です。パラレルATA（IDE）HDDは使用できません。

【ご使用前に】

- ・本書の内容等に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容に関しましては、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたら、弊社サポートセンターまでご連絡いただきますようお願いいたします。
- ・Windows はMicrosoft Corporationの登録商標です。
- ・MacはApple Inc.の登録商標です。
- ・改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。



注意

静電気や水分は機器を破壊する原因となりますので、SATA機器の取り扱い時には静電気防止バンド等を用い、水気を避けて故障の防止に努めてください。

【製品仕様】

型番：CRSJ35EU3

商品名：裸足の集合住宅 USB3.0 & eSATA

インターフェイス：デバイス側…SATA I/II/1.5Gbps/3.0Gbps

ホスト側…【USB】USB 3.0 【eSATA】SATA II 3.0Gbps

冷却ファン仕様：6cm角×2 2,500rpm±15% ノイズレベル13.8dB ※冷却ファン単体での計測値

寸法：幅130mm × 高さ185mm × 奥行260mm（突起部含まず）

重量：約3,200g（ドライブ含まず）

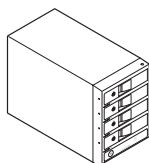
温度、湿度：温度5～35度、湿度20～80%（結露なきこと、接続するPCの動作範囲内であること）

電源仕様：【入力】AC100V～240V 【出力】150W

※本製品にHDDは含まれておりません。

【製品内容】

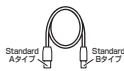
- ・CRSJ35EU3本体
- ・専用USB3.0ケーブル
Standard A-Standard Bタイプ
- ・専用eSATAケーブル
- ・専用ACケーブル
- ・ドアロックキー
- ・取扱説明書/保証書



CRSJ35EU3本体



専用eSATAケーブル



専用USB3.0ケーブル



ドアロックキー



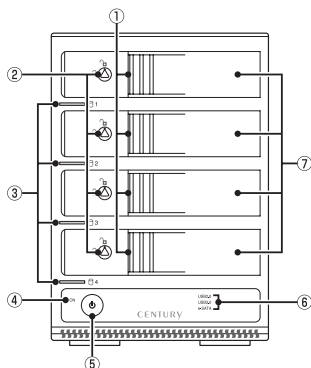
専用ACケーブル



取扱説明書/保証書

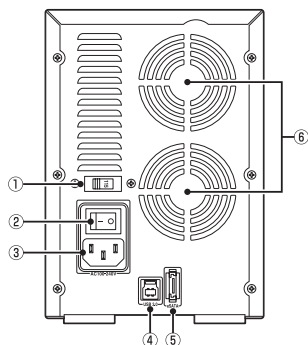
【各部の名称】

〈前面〉



- | | |
|------------|-------------|
| ① 取出し用ラッチ | ⑤ フロント電源ボタン |
| ② ドアロック | ⑥ 接続LED |
| ③ ステータスLED | ⑦ フロントドア |
| ④ パワーLED | |

〈背面〉



- | | |
|--------------|-------------|
| ① 電圧切替スイッチ* | ⑤ eSATAコネクタ |
| ② メイン電源スイッチ | ⑥ 6cm冷却ファン |
| ③ ACコネクタ | |
| ④ USB3.0コネクタ | |

*使用しません。

【対応HDD】

■ 3.5" SATA HDD (SATA I/II / 3.0 / 1.5Gbps / 3.0Gbps / 6Gbps)

※本製品はSATA HDD専用です。PATA (IDE) HDDは接続できません。

※本製品はSATA 6GbpsのSATA HDDが接続可能ですが、インターフェイス側がSATA3.0Gbpsのため、転送速度は3Gbpsが上限となります。

※3TBまでのHDDで動作確認を行っております(2011年3月現在)。

対応HDDの最新情報はサポートセンターにお問い合わせください。

※eSATA接続で3TB HDDを使用する場合、eSATAホストが3TB HDDに対応している必要があります。

【対応機種】

〈eSATA接続〉

■ Windows

- ・ポータブルマルチブライヤー対応eSATAインターフェイスを備えたPC/AT互換機

■ Mac

- ・ポータブルマルチブライヤー対応eSATAインターフェイスを備えたMac

〈USB接続〉

■ Windows

- ・USB3.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機 (USB3.0モード動作時)
- ・USB2.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機 (USB2.0モード動作時)
- ・CPUクロック 2GHz / メインメモリ 1GB以上推奨

※intelチップセット搭載モデル推奨

※sis7000/7001/7002.PCI to USB Host Controller搭載PCは、USB Host Controllerの問題で正常に動作しない可能性があります。

■ Mac

- ・USB2.0インターフェイスポートを搭載したMacPro、iMac、Macbook、MacBook Pro

※PowerPC搭載のMacは動作保証外になります。

※Macで使用する場合はUSB2.0 (480Mbps) での接続になります。(2011年3月現在)

【対応OS】

〈Windows〉

■ Windows7 (32bit/64bit) / WindowsVista (32bit/64bit) / WindowsXP (32bit)

※Windows Updateにて最新の状態にしてご使用ください。

※Windows 95 / Windows 98 / Windows 98SE/ Windows 3.x / Windows NT / Windows Me/ Windows 2000では動作しません。

※Windows 98発売以前に発売、製造されたコンピュータは、USBポートの問題で正常に動作しない場合があります。

※すべての環境での動作を保証するものではありません。

〈Mac〉

■ MacOS 10.6.6、10.5.8 (2011年3月現在)

※USB2.0ポートを標準搭載していない機種に関してはサポート対象外となります。

※製品の性質上、すべての環境、組み合わせでの動作を保証するものではありません。

本製品からのOS起動に関して

本製品はUSB3.0接続時のOS起動には対応していません。

eSATA接続時の起動に関しては、eSATAホストインターフェイスの取扱説明書をご確認ください。

【HDDの組み込み方法】

■ HDDを接続する前に

⚠ 警告 ・HDDを接続するまで、電源プラグはコンセントから抜いておいてください。
コンピュータの電源が入った状態で作業を行うと、感電などの事故や、故障の原因となります。

- ・HDD接続の際には、静電気に十分注意してください。
人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になることがあります。
作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使いください。

■ 組み込みの前に

- ・HDDおよび本製品の基板部は精密機器ですので、衝撃には十分ご注意ください。
- ・HDD接続の際には、静電気に十分注意してください。人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になることがあります。作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使いください。

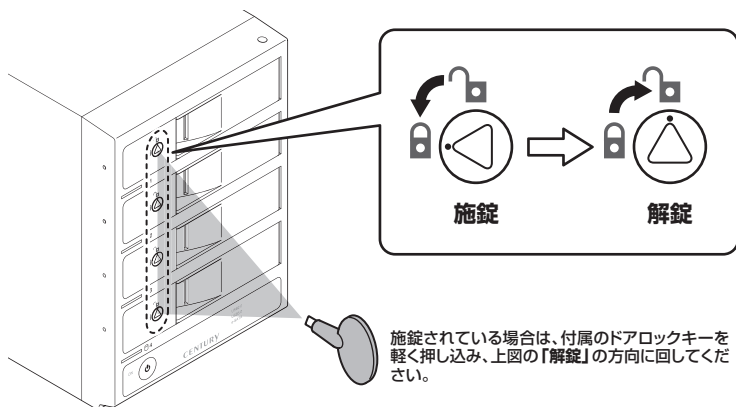
⚠ 注意 ・フレームやHDDコネクタ、基板で手を切らないようにご注意ください。

※注意

既にデータの入っているHDDを接続する場合は、接続時の不測の事態に備えて必ずデータのバックアップを行ってください。
また、本製品はHDDのホットスワップには対応しておりませんので、電源を入れたままのHDDの抜き差しは行わないでください。

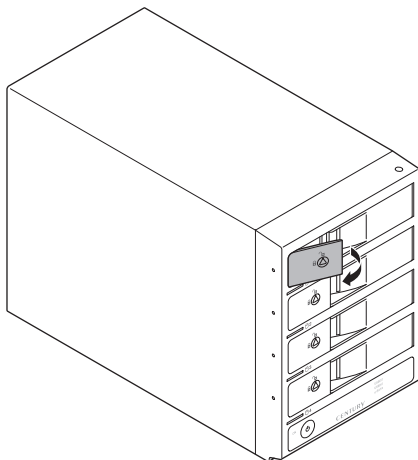
■ HDDの取り付け方

1. フロントドアのドアロックが解錠状態（マーク）にあることを確認します。

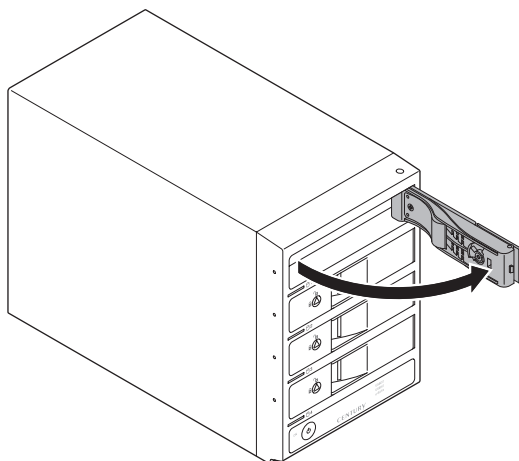


⚠ 注意 ・HDDやドア等、各金具の端で手を切らないようにご注意ください。

2. フロントドアの取出し用ラッチを手前に引きます。



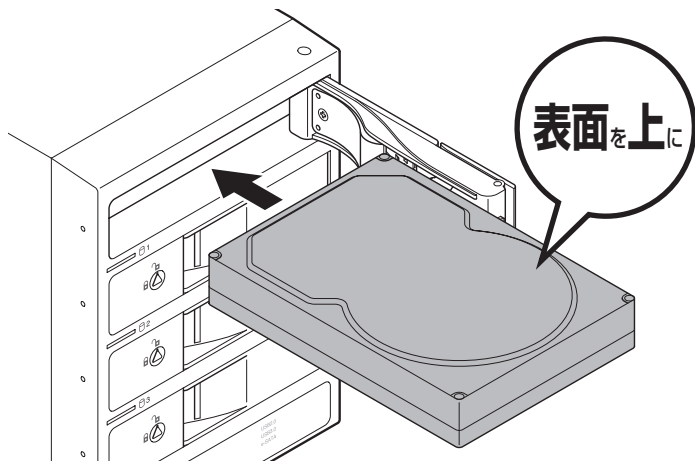
3. フロントドアを開けます。



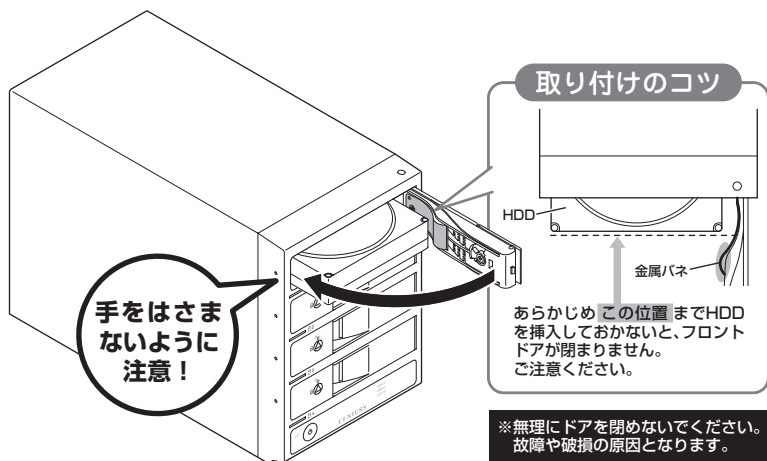
⚠ 注意 ・本製品のドアに手を挟んだり、本製品のフレームやHDDの基板面、コネクタ等で手を切らないよう十分ご注意ください。

[HDDの組み込み方法]

4. HDDの表面を上にして筐体にゆっくりと入れ、軽く当たったところで止めます。

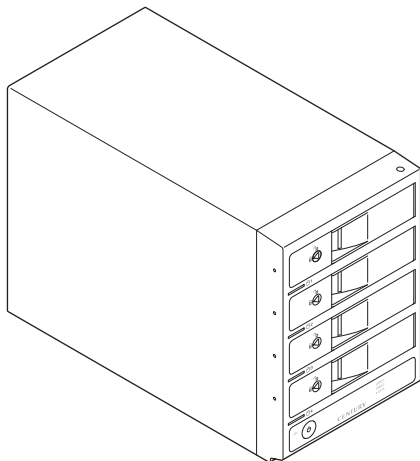


5. HDDがフロントドア内側の金属バネより奥に差し込まれていることを確認したら、フロントドアを閉めます。



△ 注意 ・本製品のドアに手を挟んだり、本製品のフレームやHDDの基板面、コネクタ等で手を切らないよう十分ご注意ください。

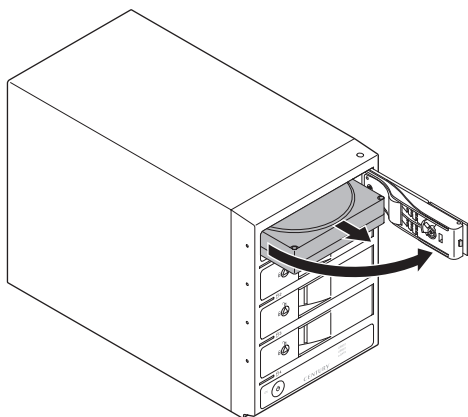
6. 下段もそれぞれ同じようにセットして完成です。
安全のため、長時間ご使用になる場合にはドアロックを施錠してご使用ください。



● **取り出す場合は？**

取り付けたときと同じようにフロントドアを開けると、中のHDDがコネクタから外れて前へ押し出されます。

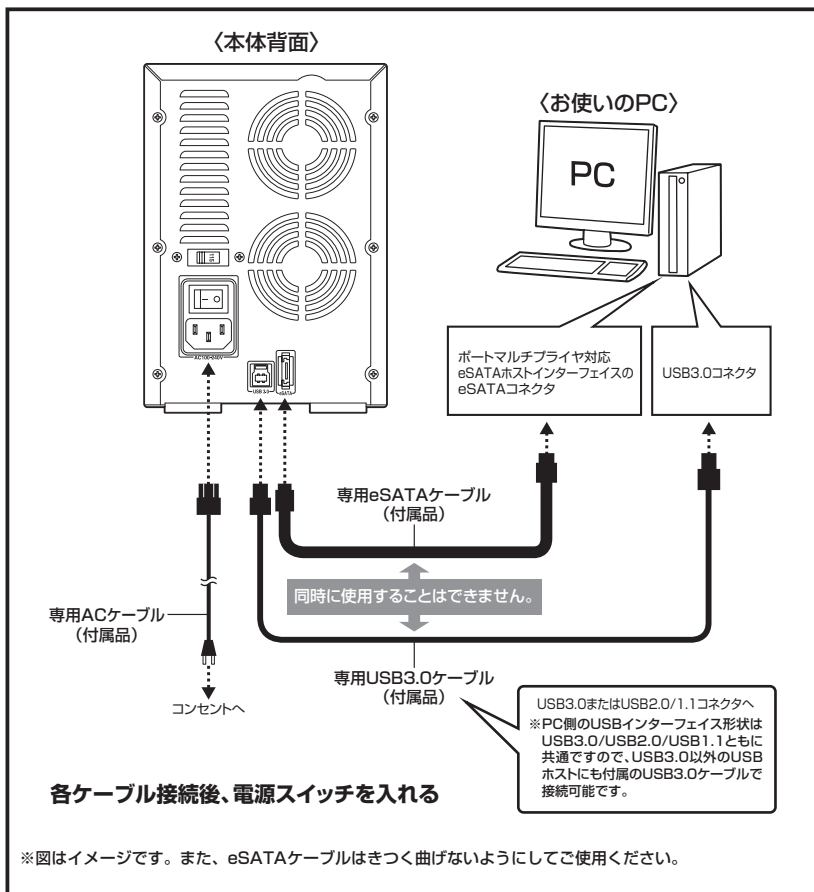
そのままHDDを手で引き出してください。



⚠ 注意 ・本製品のドアに手を挟んだり、本製品のフレームやHDDの基板面、コネクタ等で手を切らないよう十分ご注意ください。

【HDDの組み込み方法】

■ PCとの接続方法



● eSATAポートマルチプライヤーとは

eSATAポートマルチプライヤーは、SATA規格のひとつです。

従来SATAはホストとデバイスを1対1でつなぐことしかできませんでしたが、ポートマルチプライヤー機能を使用すると、1本のeSATAケーブルで最大5台までのeSATA機器を認識させることができます。また、ホスト側がポートマルチプライヤーに対応していない場合、デバイス側がポートマルチプライヤー対応で複数のHDDを搭載したとしてもHDDは1台しか認識されません。

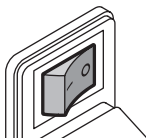
【電源の投入方法】

本製品は背面に「メイン電源スイッチ」、前面に「フロント電源ボタン」があります。次の手順で電源を投入します。

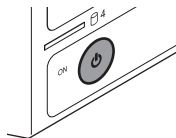


※電源を投入する前に、必ず両方の電源スイッチ・ボタンが【OFF】の位置になっていることを確認してください。

メイン電源スイッチ【OFF】



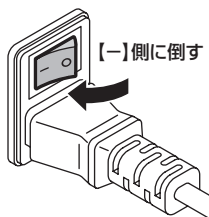
フロント電源ボタン【OFF】



■ 手順1：メイン電源スイッチをONにする

背面のメイン電源スイッチをOFF【○】の位置からON【-】の位置に倒します。この段階では、まだLEDの点灯およびHDDや冷却ファンの回転は始まりません。

電源ON



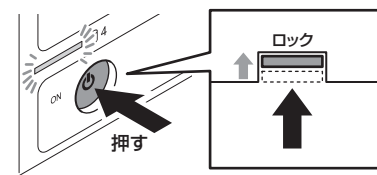
■ 手順2：フロント電源ボタンのスイッチをONにする

※フロント電源ボタンはプッシュロック式です。

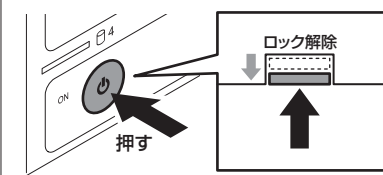
前面のフロント電源ボタンを押し込むと奥の位置でロックされ、各LEDが点灯し、HDDと冷却ファンが回転します。

もう一度ボタンを押し込むとロックが解除され、各LEDが消灯し、HDDと冷却ファンの回転が停止します。

電源ON



電源OFF



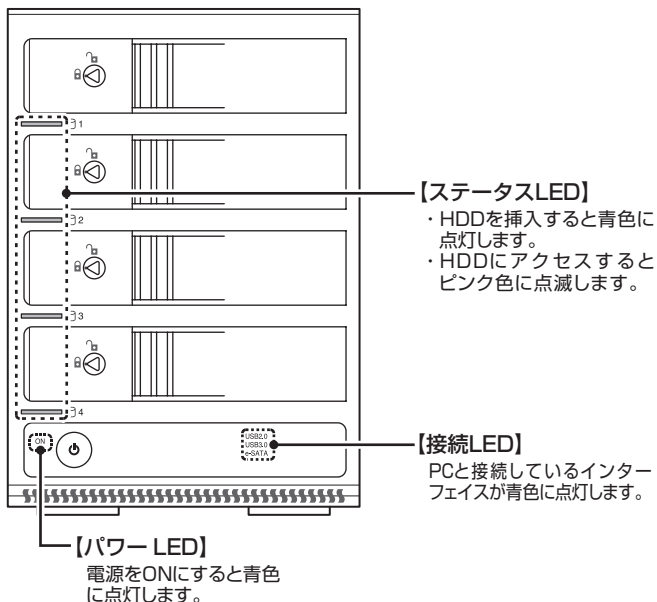
以降の電源ON/OFFはフロント電源ボタンのみで操作を行います。

長時間ご使用されない場合は、両方の電源スイッチ・ボタンをOFFにし、コンセントを抜いてください。

【使用方法】

■ ステータスLEDについて

本製品のステータスLEDは次のような動作を示します。



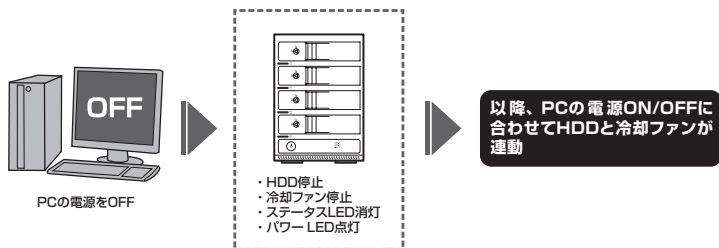
本体の動作	ステータスLEDの状態
HDD未挿入	HDDを挿入していない場合、LEDは消灯します。
HDD挿入	挿入したスロットのLEDが青色に点灯します。
PC未接続時	PC未接続時は、すべてのLEDが消灯します。
HDDエラー	エラーが発生したスロットのLEDが青色に点滅または消灯します。
電源連動時(P.12)	電源連動時はすべてのLEDが消灯します。

【電源連動機能について】

PCの電源をOFFにすると、本体前面のステータスLEDが消灯し、搭載したすべてのHDDと冷却ファンの回転が停止します。

このときパワー LEDは青色に点灯しつづけます。

以降、PCの電源ON/OFFに合わせてHDDが回転・停止するようになります。



※HDDの抜き差しを行う際は、必ずフロント電源ボタンとメイン電源スイッチをOFFにしてから行ってください。

電源ONの状態での抜き差しを行うと、データが消失、または破損する可能性があります。

※搭載したHDDの回転/停止を個別にコントロールすることはできません。
あらかじめご了承ください。

※本機能はPCからの信号を感知してHDDの回転を制御するため、常時3W程度の電力を消費します。長時間ご使用されない場合は、本製品のメイン電源スイッチをOFFにしてください。

また、本製品の電源連動機能はお使いのPCによってはご使用できない場合がございます。

その際は電源連動機能を使用せず、手動で電源ON/OFFを行ってください。

【領域の確保とフォーマット】

注意：この説明では、HDDにパーティションを分割しない設定で領域を確保する操作を説明しています。

細かく分割する操作に関しては、Windowsのヘルプや参考書を参考にしてください。

※この手順どおりに処理を行うと、HDDのフォーマットを行ってHDD内に入っているデータを消去します。消したくないデータが入っている場合は、領域の確保とフォーマット処理は行わないようにしてください。

□ Windows 7、Windows Vistaの場合

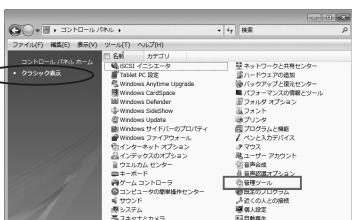
1.



【コントロールパネル】 → 【表示方法：小さいアイコン】 → 【管理ツール】 (Windows 7)

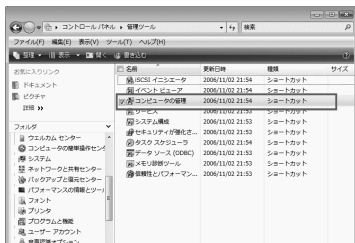


【コントロールパネル】 → 【クラシック表示】 → 【管理ツール】 (Windows Vista)



※コントロールパネルを開いても【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。

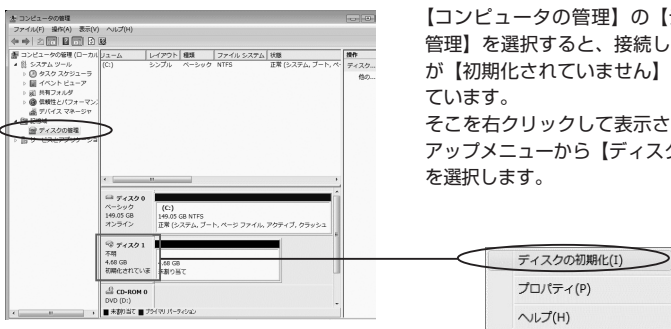
2.



【管理ツール】の中の【コンピュータの管理】を開きます。

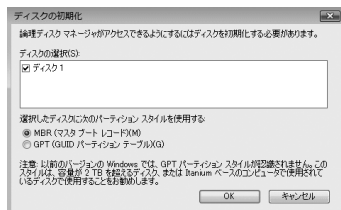
※このとき【ユーザーアカウント制限】ウィンドウが表示されます。【続行】をクリックしてください。続行できない場合は、ユーザーに管理者としての権限がありません。システムの管理者にご相談ください。

3.



【コンピュータの管理】の【ディスクの管理】を選択すると、接続したディスクが【初期化されていません】と表示されています。そこを右クリックして表示されるポップアップメニューから【ディスクの初期化】を選択します。

4.



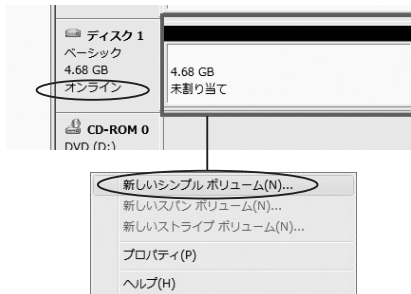
【ディスクの初期化】ウィンドウが表示されます。

先ほど選択したディスクで間違いがないかを確認して【OK】をクリックします。

※パーティションスタイルについて
パーティションスタイルに関しては2TB以上の容量を扱う場合以外は、MBR形式を使用することをおすすめします。GPT形式は、Windows 2000やWindows XP等では読み書きすることができません。
また、ハードウェアの仕様によって、2TBを超える容量が扱えない場合もございます。
GPT形式であれば2TBを超える容量が扱えるわけではないことに注意してください。

【領域の確保とフォーマット】

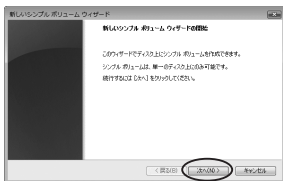
5.



【ディスクの初期化】が完了するとディスクの状態が【オンライン】に変わります。この状態ではまだ使用できませんので、ボリュームを作成してフォーマットする必要があります。

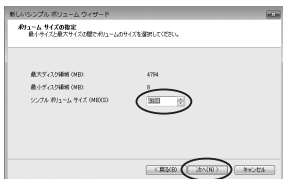
ディスク名の表示の右側の、容量が表示されているところを【右クリック】すると、ポップアップメニューが表示されますので【新しいシンプルボリューム】を選択します。

6.



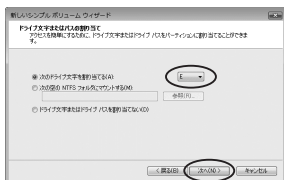
【新しいシンプルボリュームウィザード】が表示されます。設定する箇所はありませんので【次へ】をクリックします。

7.



【ボリュームサイズの指定】が表示されます。MB (メガバイト) 単位でボリュームサイズを指定します。ここで指定したサイズがパーティションサイズとなりますので、任意の数値を指定してください。特に指定しなければ最大容量で設定されます。設定したら【次へ】をクリックします。

8.



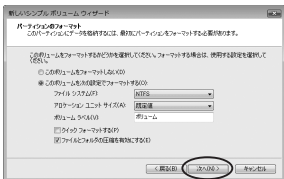
【ドライブ文字またはパスの割り当て】ウィンドウが表示されます。

ドライブ文字は、マイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。通常、Cが起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。特に指定がなければ空いている割り当て番号のいちばん若いアルファベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブパスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。

こちらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

9.



【パーティションのフォーマット】ウィンドウが表示されます。

- ・ファイルシステム

NTFSを選択します。他のファイルシステムは使用しないでください。

- ・アロケーションユニットサイズ

パーティションのアロケーションユニットサイズを指定します。特に使用するアプリケーション等の指定がない限り、規定値で問題ありません。

- ・ボリュームラベル

マイコンピュータ等から表示されるボリュームラベルを設定します。

- ・クイックフォーマット

このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。

通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をペリファイしませんが、時間がかからない代わりに、不良セクタ等の代替も行われません。お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。

- ・ファイルとフォルダの圧縮を有効にする

このチェックボックスを有効にすると、ファイルとフォルダの圧縮が有効になります。

通常よりも大きな容量を使用できるようになりますが、パフォーマンスの面では圧縮されていない状態よりも劣ります。

一部のアプリケーションではこの設定が推奨されていないこともありますのでご注意ください。

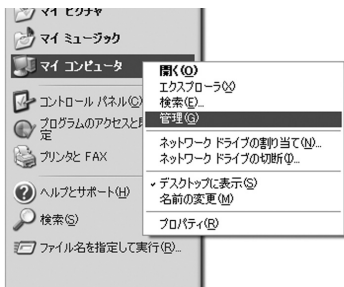
設定が終わりましたら、【次へ】をクリックします。

【領域の確保とフォーマット】

□ Windows XPの場合

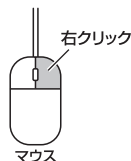
注意：フォーマットにはアドミニストレータ権限を持っているユーザでログインして行ってください。

1.

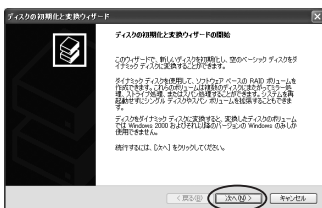


スタートメニューのマイ コンピュータを「右クリック」で開き「管理」を選択します。

「コンピュータの管理」ウィンドウが開きます。



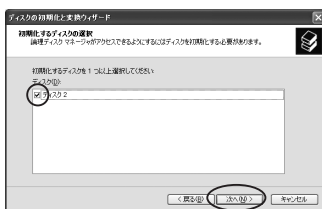
2.



「コンピュータの管理」ウィンドウの「ツリー」の中から「ディスクの管理」を選択すると、「ディスクのアップグレードと署名ウィザード」が表示されます。

「次へ」をクリックします。

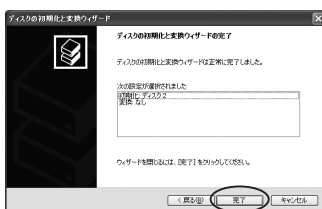
3.



「署名するディスクの選択」ウィンドウが表示されます。

署名するディスクにチェックを入れて「次へ」をクリックします。

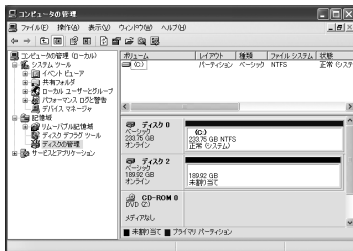
4.



「ディスクのアップグレードと署名ウィザード完了」ウィンドウが表示されます。

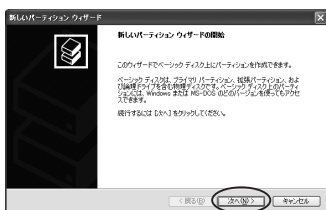
「完了」をクリックしてウィンドウを閉じます。

5.



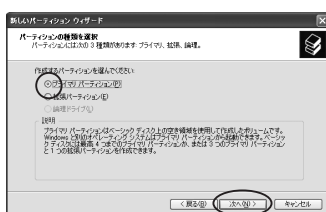
次にパーティションの作成を行います。「未割り当て」と表示され、斜線になっているディスクがフォーマットされていないディスクですので、「未割り当て」と表示されている部分を「左クリック」で選択し、「右クリック」でメニューを開き、「パーティションの作成 (P)..」を選択します。

6.



「パーティション作成ウィザード」が表示されます。「次へ」をクリックします。

7.



「パーティションの種類を選択」ウィンドウが表示されます。「プライマリパーティション」を選択して「次へ」をクリックします。
※1つのディスクを5つ以上のパーティションに分割する場合は、拡張パーティションを選択します。

8.

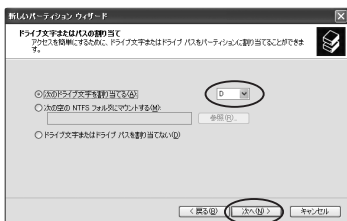


「パーティションサイズの指定」ウィンドウが表示されます。「次へ」をクリックします。

※既定値は最大容量（1パーティション）ですが、複数のパーティションを作成するには、容量を減らし、「パーティション作成ウィザード」を繰り返して行うことで、複数のパーティションを作成することができます。

【領域の確保とフォーマット】

9.

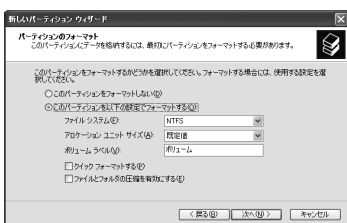


「ドライブ文字またはパスの割り当て」ウィンドウが表示されます。

ドライブ文字を指定して「次へ」をクリックします。

※「ドライブパスをサポートするボリュームにマウントする (M)」はWindows XPの機能で、元々あったHDDの中に、新しいHDDを増設する方法です。詳しくはお使いのWindowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

10.



「パーティションのフォーマット」ウィンドウが表示されます。

このウィンドウでフォーマット設定をすることができます。

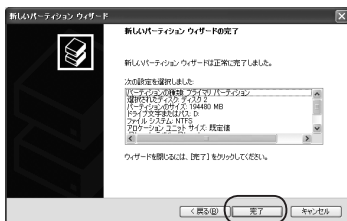
・使用するファイルシステム
NTFSとFAT32が選択可能です。

※Windows XPでは32GBを越えるFAT32ボリュームをフォーマットすることができません。

- ・アロケーションユニットサイズ
アロケーションユニットの大きさを設定します。通常は既定値のまま変更する必要はありません。
- ・ボリュームラベル
「マイコンピュータ」で表示されるボリューム名です。指定しなければ既定の「ボリューム」というボリュームラベルが設定されます。
- ・クイックフォーマットする
このチェックボックスを入れておくとフォーマット時にクイックフォーマットを行います。以前フォーマットされていたHDDのみ使用可能です。新規のディスクはクイックフォーマットすることができません。
- ・ファイルとフォルダの圧縮を有効にする
Windowsのファイル圧縮機能を使用します。
ファイルを圧縮して格納することにより、実際の容量よりも大きく使用することが可能ですが、仕様のファイルの読み書き速度の低下を招くようです。詳しくはお使いのWindowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

すべて設定して「次へ」をクリックします。

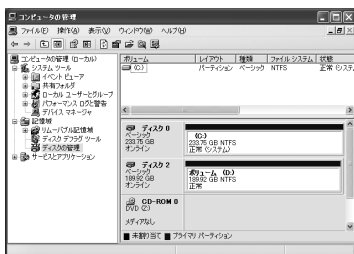
11.



「パーティション作成ウィザードの完了」ウィンドウが表示されます。

「完了」をクリックして閉じます。

12.



フォーマットが開始されます。

「ディスクの管理」で表示されるステータスが「フォーマット中」になります。進行状況が100%になり、ステータスが「正常」になればフォーマット完了です。

使用可能になっていますので、マイコンピュータからディスクアイコンを開いてコピーなどを行ってください。



フォーマット中にディスクにアクセスしようとすると警告が表示されますが故障ではありません。

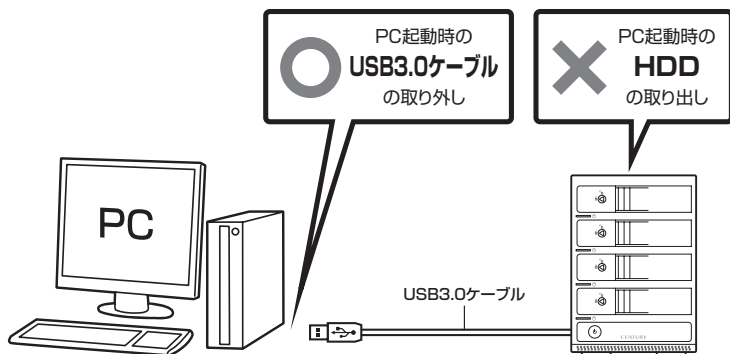
フォーマット中は、コンピュータ、HDDの電源を切ったり、ケーブルを取り外したり、Windowsを終了しないでください。故障の原因となります。

【ハードウェアの取り外しについて】

本製品はUSB接続時、PC起動中にハードウェアの取り外しが可能です。

※eSATA接続時のハードウェアの取り外しは、PCの電源を切った状態で行ってください。

※この項で説明する「ハードウェアの取り外し」とは、本製品とPCの接続を解除するという意味です。
本製品はホットスワップには対応しておりませんので、HDDの取り付け、取り外しをする際は必ず本製品の電源を切った状態で行うようにしてください。



1. 本製品を接続すると、タスクトレイに「ハードウェアの取り外し」アイコンが表示されます。
取り外す際は「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックします。
デバイス名は以下のように表示されます。

- Windows XP …… USB大容量記憶装置デバイス
- Windows Vista …… USB大容量記憶装置
- Windows 7 …… USB to ATA / ATAPI Bridge

※搭載したHDDを個別に取り外すことはできません。
あらかじめご了承ください。

2. 取り外し完了のメッセージが表示されれば完了です。
フロント電源ボタン、メイン電源スイッチを切ってケーブルを取り外してください。

※取り外しの詳しい手順はOSにより異なりますので、お使いのWindowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照の上、作業を行ってください。

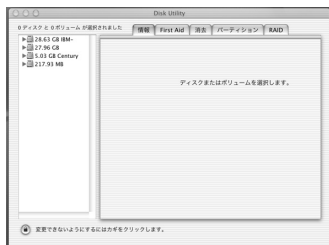
「ハードウェアの取り外し」の手順を経ずに本製品を取り外すと、HDDのデータが破損したり、消失するおそれがありますので、必ず「ハードウェアの取り外し」の処理を行ってください。

【Macでの使用方法】

MacOS XでのフォーマットはOS標準の「Disk Utility」を使用します。

※あらかじめMacフォーマットを行ったハードディスクはそのまま使用可能です。

1.



「Disk Utility」を起動します。

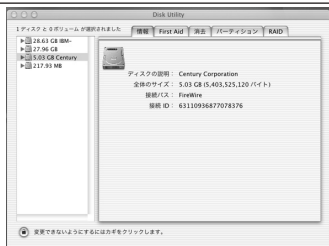
※「Disk Utility」は、アプリケーション > Utilityの中にあります。

左側に接続されているフォーマット可能ディスクの一覧が表示されます。

本製品は、
「xxGB (HDD容量) xxxxxx (HDDのモデル名)」
と表示されます。

これをクリックして選択します。

2.



接続されているディスクの情報が表示されます。

3.



上の「パーティション」タブをクリックします。

パーティション設定を変更できます。

ボリュームの方式

：作成するボリューム数を選択します。
8つまで分割して作成することが可能です。

ボリューム

：メディアの分割状況が表示されます。

ボリューム情報

：ボリューム情報は「ボリュームの方式」で選択されたボリューム情報を変更します。
「ボリュームの方式」で別のパーティションを選択するとパーティション毎に設定を変更することが可能です。

名前

：作成するボリューム名を変更できます。変更しないと「名称未設定」という名前が付けられます。

フォーマット

：作成するボリュームのフォーマットを選択します。「MacOS標準」、「MacOS拡張」、「UNIXファイルシステム」、「空き領域」が選択できます。通常は「MacOS標準」か「MacOS拡張」を選択してください。

サイズ

：作成するボリュームのサイズを変更できます。

オプション

：「MacOS 9ディスクドライバをインストール」のチェックをするとMacOS 9で動作するドライバをインストールします。

分割

：選択されているボリュームを同じ容量で分割します。

削除

：選択されているボリュームを削除します。

元に戻す

：直前の変更を元に戻します。

4.



すべて決定したら右下の「OK」をクリックします。
警告が表示されます。

作成する場合は「パーティション」を、
キャンセルする場合は「キャンセル」を
クリックします。

5.



パーティションが作成され、デスクトップ
にマウントされます。

取り外しをする場合はこのアイコンを
Dockの中のごみ箱にドロップします。
※HDDを複数台使用している場合、
HDDは個別に取り外しを行うことは
できません。
取り外しを行う際は、認識している
HDDをすべてごみ箱にドロップして
ください。

【トラブルシューティング】

主なトラブルの対処方法を説明いたします。

「故障かな?」と思われましたら、以下をお読みのうえ、記載されている対処方法をお試しください。

■認識されない

→以下の点をご確認ください。

- ・接続ケーブル、ACケーブルが正しく接続されているか
- ・パワーLEDが正しく点灯しているか
- ・eSATA I/F接続の場合、正しくドライバがインストールされて動作しているか
- ・eSATA I/Fの仕様はポータブルマルチプライヤーに対応しているか
- ・Windows XPに3TBのHDDを接続した場合、OS側の仕様で認識されません。2TBまでのHDDをご使用ください。

■WindowsでeSATA接続時、ハードウェアの取り外しに本製品のHDDが表示されない

→eSATA接続時のハードウェアの取り外しは、接続されたeSATA I/Fによって可能かどうか異なります。詳しくはお使いのeSATA I/Fの製造元にお問い合わせください。

また、eSATA HDDの動作中の取り外しは、設定によってデータの破損等につながる場合がありますので、弊社ではおすすめしておりません。

■スリープから復帰するとフリーズする (Windows/Mac)

→本製品はスリープに対応しておりません。スリープする前に取り外しを行ってからスリープを行ってください。

■eSATA接続時のみ3TBのHDDが認識できない。または容量を誤認識してしまう

→ご使用のeSATAインターフェースが2TB超の容量に対応していない可能性がございます。

ご使用のeSATAインターフェースの仕様をご確認ください。

■eSATA接続時、一番上の段のHDDしか認識できない

→ご使用のeSATAインターフェースがポータブルマルチプライヤーに対応していないと1台目のHDDのみが認識される状態になってしまいます。

ポータブルマルチプライヤー対応のeSATAインターフェースを別途ご用意して、接続を行ってください。

■USB接続時にUSB2.0として認識してしまう

→本製品の電源をONにしたままUSBケーブルを接続すると、接続するタイミングによってUSB2.0機器として認識してしまう場合があります。

本製品の電源はOFFの状態でご各ケーブルを接続し、電源スイッチをONにしてください。

■eSATA接続時、Windowsが起動後に接続すると認識されない

→eSATAのホストアダプタの仕様やモード設定によっては、パソコンの起動時に本製品を接続しておかないと認識できない場合があります。お使いのeSATAホストアダプタの仕様をご確認ください。

また、マザーボードのeSATAポートを使用している場合、BIOS上でSATAの動作モードがIDE互換モードになっていると、Windows起動後の接続ができません。

この場合は〈AHCIモード〉に変更することで改善する可能性があります。

※システムの起動HDDと本製品が同じSATAホストに接続されている状態でモード変更を行うと、Windowsが起動しなくなる場合がありますのでご注意ください。

■2TB以上のボリュームを作成したが、フォーマットしようとする2TBで分割されてしまう (Windows7、Vista)

→2TBを超えるボリュームを使用する場合は、HDDの初期化形式をGPT形式にする必要があります。

[FAQ]

Q：他の機器で使用していたデータの入ったHDDを入れて、そのままデータにアクセスできますか？

A：基本的には使用可能ですが、以前ご使用いただいていた環境によってはご使用できない場合があります。

使用できない場合はフォーマットを行う必要があります。

不慮の事故によるデータの消失を避けるためにも、データが入ったHDDを接続する場合は必ずバックアップをとってからの作業をお願いいたします。

Q：本製品の電源を入れたままHDDの抜き差しが可能ですか？

A：対応しておりません。

HDDの抜き差しを行う場合は、本製品の主電源をOFFの状態で行ってください。

Q：HDDは1台のみでも使用できますか？

A：使用可能です。

Q：eSATA、USBをそれぞれ別のPCに接続して同時に使用することは可能ですか？

A：残念ながらできません。

Q：どんな形式のHDDが接続可能ですか？

A：3.5インチサイズのシリアルATA（SATA）HDDが接続可能です。

パラレルATA(IDE)のHDDは接続できません。

Q：Windows ServerやLinuxで動作しますか？

A：サポート対象のOSとしては、

●Windows XP、Windows Vista、Windows 7

●MacOS 10.5.8、10.6.6

を対応OSとしています。

それ以外でのOSに関しては動作確認を行っておらず、サポート外、自己責任での範囲となります。

ドライバの提供や操作方法等をご案内できかねます。

Q：着脱可能回数は何回ですか？

A：本製品に装備されているコネクタの耐久性は約10,000回となっております。
HDD/SSD側にもそれぞれ同様の耐久性が設定されておりますので、くわしい着脱可能回数はHDD/SSDの製造メーカーにお問い合わせください。

Q：OSの起動は可能ですか？

A：eSATA接続でかつ、ホストがeSATA起動可能である場合のみ使用できます。
ただし、すべての環境でのOS起動を保証するものではありません。
※USB接続でのOS起動はサポート対象外とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

【サポートのご案内】

【販売・サポート】

株式会社 センチュリー



CENTURY

■サポートセンター

〒277-0872 千葉県柏市とよふたおきほら十余二翁原240-9

【TEL】04-7142-7533

(平日 午前10時～午後5時まで)

【FAX】04-7142-7285

【Web】<http://www.century.co.jp>

【Mail】support@century.co.jp

～お願い～

修理をご依頼の場合、必ず事前にサポートセンターにて受付を行ってから
発送をお願いいたします。

アンケートにご協力をお願いします

センチュリー商品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
今後の商品開発などの参考にさせていただきますので、下記URLにてアンケートの入力をお
願いいたします。
どうぞよろしく願いいたします。

～弊社商品につきましてのアンケート～

【URL】<http://www.century.co.jp/que.html>



— 本書に関するご注意 —

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしましたですが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
4. 運用した結果の影響については、【3.】項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセンチュリーおよびセンチュリー指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

※記載の各会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。

※This product version is for internal Japanese distribution only.

It comes with drivers and manuals in Japanese.

This version of our product will not work with other languages operating system and we provide help support desk in Japanese only.